

2020年12月9日







#### 三十三フィナンシャルグループについて

## グループの概要 ... 2 合併について ... 3

#### 2020年9月中間期決算の状況について

	•
2020年9月中間期決算サマリー	 5
貸出金·預金等	 6
有価証券	 7
非金利収益	 8
経費・信用コスト・金融再生法開示債権	 9
自己資本比率·配当政策	 10
2021年3月計画	 11

#### 合併に向けて

ページ

ページ

	_
持続的発展に向けたビジネスモデル	 13
中期経営計画の概要	 14
シナジー効果の全体像	 15
リレーション&ソリューション施策(法人)	 16
リレーション&ソリューション施策(個人)	 18
効率化 · 最適化施策	 19
中計KPI	 20
SDGsへの取組み	 21

ページ

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述はリスクと不確実性を内包しており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境に関する前提条件

変化等に伴い目標対比変化することにご留意下さい。本資料は、当社に 関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたも のではありません。 【本件に関するご照会先】

三十三フィナンシャルグループ 経営企画部 石原 TEL 059-354-7172 FAX 059-355-8225

E-mail koho@miebank.co.jp

# 三十三フィナンシャルグループについて

## グループの概要



## 三十三フィナンシャルグループ

San ju San Financial Group

#### 経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、 地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

#### 子銀行の概要

2018年4月設立

**33FG** (2行合算)

	=	$\Delta \Box$	1	_
_	曲	銀	1	т
	ᆂ	TrT!	ı	J

## る第三銀行

(2020年9月末現在)

1X-1-73 H
本店所在地
資本金
総資産
預金等残高
貸出金残高
従業員数
店舗数

設立年日日

( , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
-	1895年11月15日
_	三重県四日市市西新地7番8号
-	152億円
41,973億円	20,586億円
37,513億円(※38位相当)	18,506億円(※68位)
27,943億円(※37位相当)	14,525億円(※68位)
2,611名	1,290名
171店舗	75店舗

1927年7月24日			
三重県松阪市京町510番			
3 7 4 億円			
21,386億円			
19,006億円(※66位)			
13,418億円(※70位)			
1,321名			
96店舗			

カッコ内の順位については、地銀・第二地銀102行中の順位(2020/3末基準)

## 合併について

#### 合併後の銀行

#### 2021年5月1日合併



商号 本店所在地 資本金

株式会社三十三銀行 三重県四日市市西新地7番8号 374億円

#### 合併に向けた対応

順調に進捗

#### 2018年4月

- 三重銀行、第三銀行が経営統合し、
- 三十三フィナンシャルグループ設立
- 2019年1月
- 子銀行2行の合併を公表
- 「合併推進委員会」を設置
- 2019年6月~10月

店番・店名が重複する店舗の店番・店名を変更

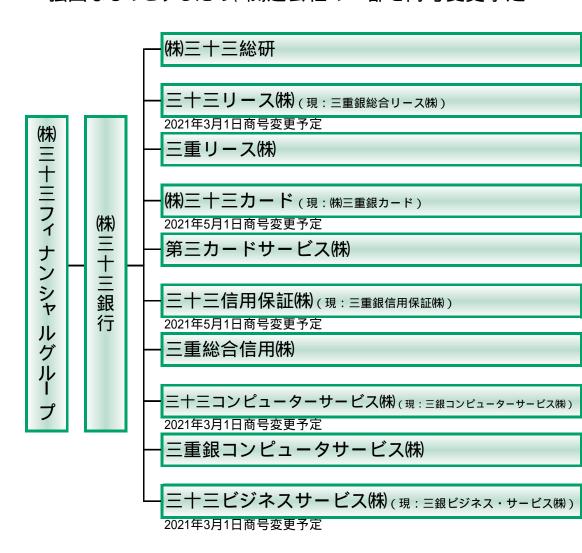
- 2020年4月~
- システム統合に備えた事務研修を開始

#### 2021年5月1日

合併と同時にシステム統合し、「三十三銀行」として 新たにスタート

#### 合併後のグループ体制

・グループとしての一体感をより強め、 業務上の連携を一層 強固なものとするため、関連会社の一部を商号変更予定



2020年9月中間期決算の状況について

## 2020年9月中間期決算サマリー

- 2行合算のコア業務純益は非金利収益の減少、経費(合併・システム統合関連コスト)の増加を主因に減益。
- 信用コストの増加を有価証券関係損益でカバー。

#### 三重銀行と第三銀行の2行単体の単純合算(以下「2行合算」)

(億円) 2020/上 前年 前年 前年 第三 三重 2行合算 同期比 同期比 同期比 119 **▲**3 コア業務粗利益 233 113 **A**2 **4** 5 3 資金利益 190 88 102 **A**2 うち貸出金利息収入 142  $\triangle$  0 68 73 **1** 1 うち預金等利息支払()  $\blacktriangle 0$  $\mathbf{A}$ 0 3 うち有価証券利息配当金 51 2 21 **1** 30 42 **4**5 非金利収益 **A** 9 25 **A**3 17 192 0 93 99 **1** 経費() 0 (うち合併・システム関連コスト) **A** 6 20 **4** 20 **1** コア業務純益 40 46 24 **A**3 22 **1** (合併・システム関連コスト除き) 有価証券関係損益 41 38 32 15 54 3 **4**5 国債等債券損益 **A** 6 **1 1** 株式等関係損益 52 48 40 33 11 14 42 34 信用コスト() 42 34 0 経常利益 53 **A** 7 24 **A** 7 28 **A** 3 中間純利益 **A**6 24 42 17

#### 資金利益(2行合算)の増減要因(前年同期比)

	平残要因   利回要因		純増減
貸出金	(+695億円)	( 0.03p)	
利息	3.6億円	4.5億円	0.8億円
預金等	(+1,235億円)	( 0.01p)	
利息	0.1億円	1.2億円	1.0億円
有価証券	( 663億円)	(+0.15p)	
利息配当金	3.5億円	6.0億円	2.4億円
その他			0.8億円
合計			3.4億円

#### FG連結

(億円)

	2020/上	前年 同期比
経常利益	32	▲ 9
親会社株主に帰属する 中間純利益	21	▲ 7

## 貸出金・預金等

- 貸出金·預金等ともに地元(三重·愛知)を中心に増加。
- 預金等利回り低下が限定的な中、貸出金利回りの低下が継続。

#### 貸出金残高・利回り(2行合算)



#### コロナ関連融資状況(20/9末)

	相談件数	実行件数	実行金額
2行合算	8,267件	6,326件	1,665億円

#### 預金等残高・利回り(2行合算)

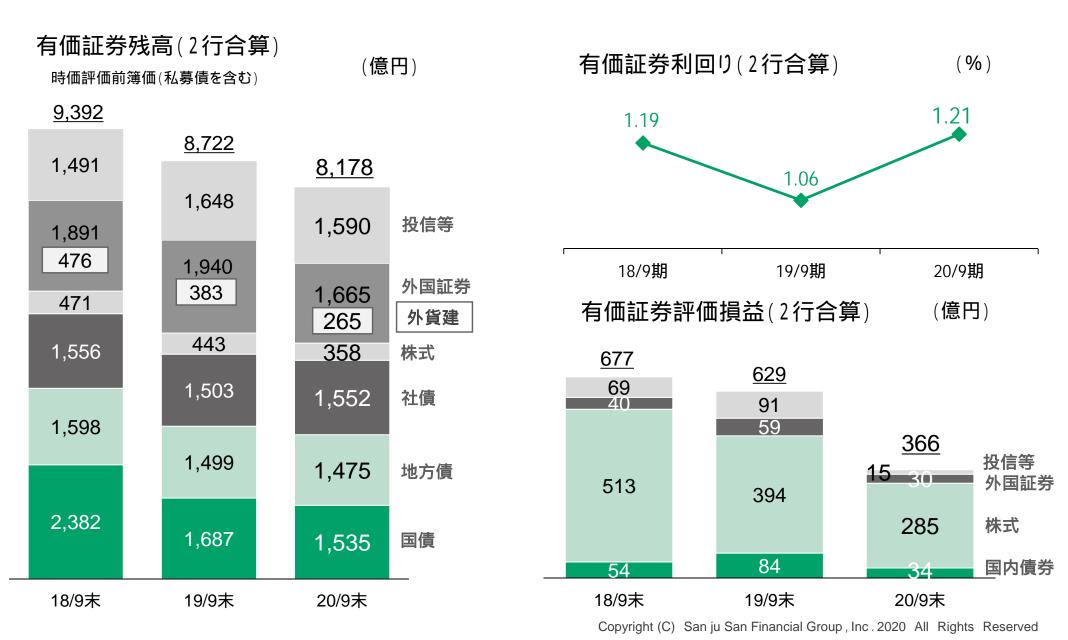


#### 給付金受入状況(20/9末)

	定額給付金		持続化	給付金
	件数金額		件数金額	
2行合算	172,711件	391億円	11,259件	149億円

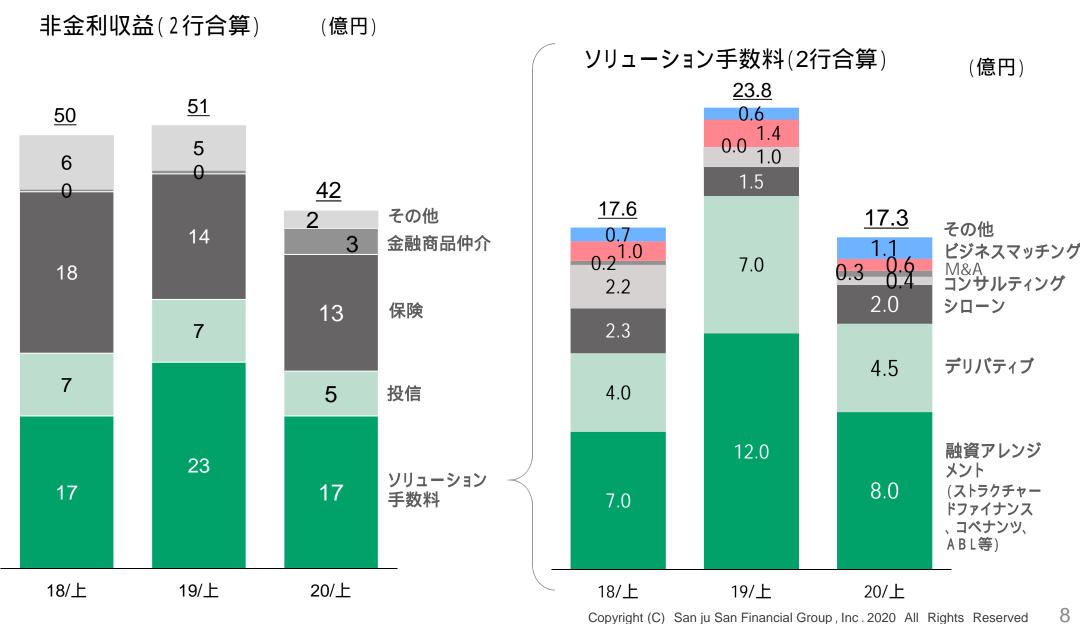
## 有価証券

▶ 低金利が継続する中、比較的利回りが見込める投資信託等のウエイトを増加。



## 非金利収益

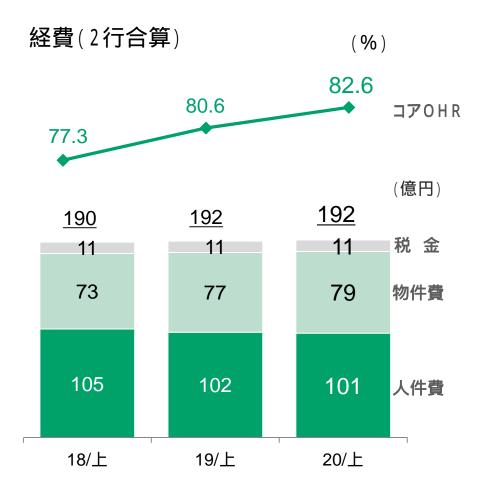
コロナ影響による営業活動自粛(4~5月)もあり、前年同期比マイナス。



## 経費・信用コスト・金融再生法開示債権

- > 経費はほぼ横ばい。
- ▶ 信用コストは大口先のランクダウンにより大幅増加。金融再生法開示債権比率も上昇。

(億円)



合併・システム統合コスト(経費計上分)

18/上	19/上	20/上	前年同期比
0	4	5	1

#### 信用コスト(2行合算)

(億円)

		18/上	19/上	20/上	前年同期比
信	用コスト	5	0	42	42
	一般貸倒引当金繰入	0	4	30	34
	個別貸倒引当金繰入	4	4	11	7
	うち新規発生	4	5	16	11
	譲渡損等	0	0	0	0
	償却債権取立益	0	0	0	0

#### 金融再生法開示債権 (2行合算)

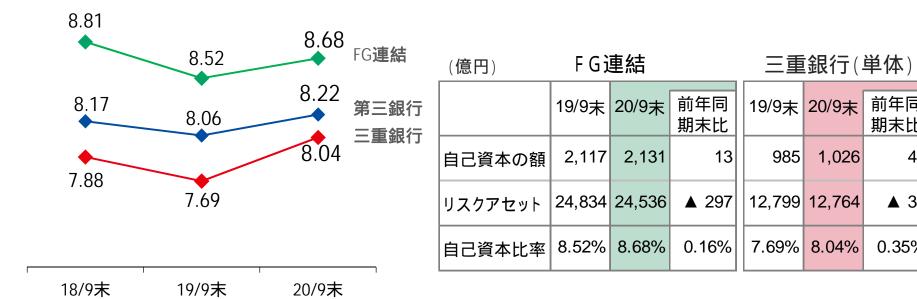
(億円)

		18/9末	19/9末	20/9末	前年同期末比
	破産更生等債権	175	158	155	2
	危険債権	331	331	376	45
	要管理債権	19	32	77	44
開	示債権合計	525	522	609	87
紭	与信残高	27,355	27,682	28,453	770
開	示債権比率	1.92	1.88	2.14	0.26

## 自己資本比率·配当政策

- ▶ FG連結の自己資本比率はリスクアセットの減少を主因に上昇。
- 🕨 配当は引き続き年間72円を予定。

#### 自己資本比率(FG連結、子銀行単体)(%)



二里	上立 <b>区1</b> 」(	半冲)		. 立区1J(·	<del>半</del> 冲)
19/9末	20/9末	前年同期末比	19/9末	20/9末	前年同期末比
985	1,026	41	928	928	0
12,799	12,764	▲ 35	11,504	11,297	▲ 206
7.69%	8.04%	0.35%	8.06%	8.22%	0.16%

第二组织(肖体)

#### 配当政策

株主のみなさまに対する利益還元を最重要施策の一つとして位置づけ、内部留保の充実による自己資本の向上と 長期安定的な経営基盤の拡充を図りつつ、安定的な配当 を継続します。

2021/3期 予想	年間	中間	期末
配当金 (普通株式)	72.00円	36.00円	36.00円

## 2021年3月計画

- > 2行合算、FG連結ともに減益を予定。
- > 2行合算の当期純利益は第三銀行名古屋支店の売却益計上により増益計画。

## 2行合算

(億円)

	2021/3期					(12日)
	2行合算	前期比	三重	前期比	第三	前期比
コア業務粗利益	474	1	230	3	243	▲ 1
資金利益	372	5	172	3	199	1
非金利収益	101	▲ 3	58	<b>A</b> 0	43	▲ 3
— 経費( )	399	15	191	8	207	7
(うち合併・システム関連コスト)	25	11	14	6	11	4
コア業務純益	75	▲ 13	39	<b>A</b> 5	36	▲ 8
(合併・システム関連コスト除き)	101	▲ 1	54	2	47	<b>4</b> 4
有価証券関係損益	63	45	38	24	25	21
国債等債券損益	11	2	▲ 2	<b>1</b>	13	4
株式等関係損益	52	42	40	26	12	16
与信費用( )	56	44	40	36	16	8
経常利益	81	▲ 15	38	<b>1</b> 9	43	3
当期純利益	88	18	18	▲ 20	70	38

## FG連結

(億円)

	2021/3期	前期比		
経常利益	30	31		
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	11		



地域活性化に向けた取組みによる 地元のお客さま、地域経済の成長 圧倒的なリレーションの構築 お取引の お客さまへの 貢献 発展 多様なソリューションの提供 安定した収益の確保による 三十三フィナンシャルグループの成長

# 3 3 F G ビジネスモデル

リレーション & ソリューション

## 中期経営計画の概要

ビジョン

## 質の高い地域ナンバー1金融グループ

地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して 多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を 構築することで、質の高い地域金融グループを目指す期間 次期中期経営計画(2021年4月~2024年3月)

質の高い地域金融グループを目指し、合併により両行の強みを 完全に融合させ、本格的な成果の実現を通じて更なる成長に向 けた取組みを強化する期間

2021年5月 合併予定

#### 本中計のテーマ

統合効果の 早期実現·最大化



強固な経営基盤の構築



地域とともに成長し続ける

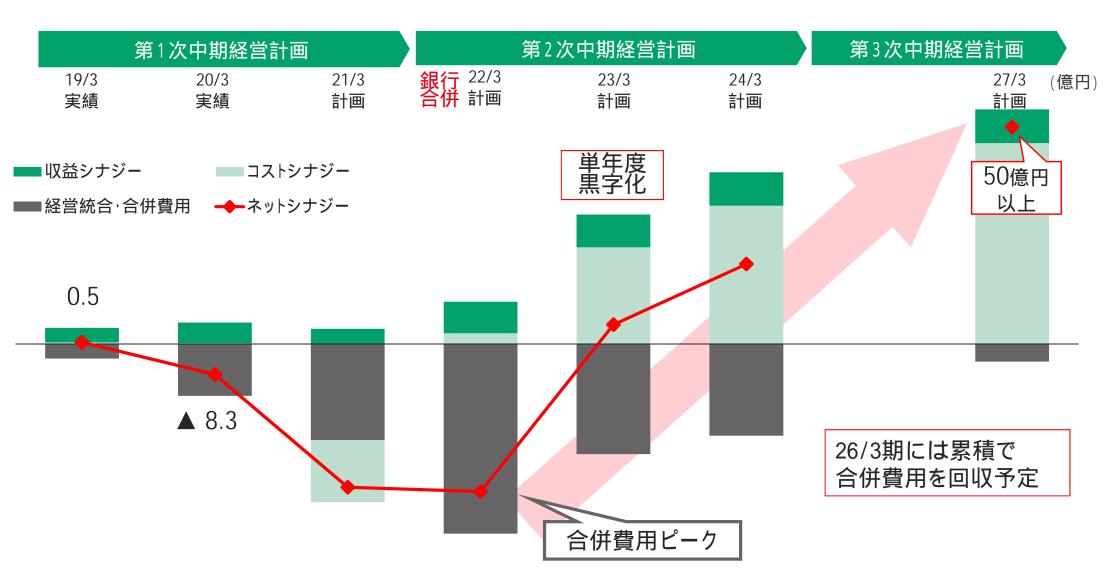
統合効果の早期実現・最大化 強固な経営基盤の構築 完全融合 本格的な成果実現

2018年4月~

2021年4月~

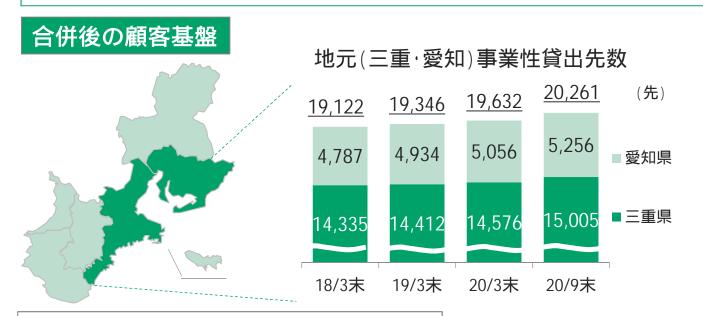
## シナジー効果の全体像

- ▶ 合併初年度(22/3期)に合併費用はピーク。
- ▶ 23/3期に単年度黒字化、26/3期には累積で合併費用を回収できる見込み。
- ▶ 27/3期には単年度で50億円以上のネットシナジーを見込む。



## リレーション&ソリューション施策(法人)

- ▶ 地元(三重·愛知)の事業性貸出先数は順調に増加。引き続き間口拡大を図る。
- ▶ コロナウイルス感染拡大による地域経済への影響を最小限に食い止めるために、積極的な金融支援を実施。



#### 合併後の間口拡大施策

- ·デジタルを活用した業務効率化による 取引先との対話機会の拡充
- ·三重県中南部地域活性化推進チーム による中南部地域での本業支援
- ・フルバンキング化の進展による顧客 対応力強化

三重県・愛知県を中心とした7都府県の店舗網

## コロナ禍における支援策

迅速な金融支援の継続

新型コロナウイルス関連 相談・融資件数

(11月30日時点)

	相談件数	実行件数	実行金額
三重銀行	3,799件	2,582件	866億円
第三銀行	5,697件	4,442件	942億円
合計	9,496件	7,024件	1,808億円

#### 資本性ローンの活用

- ・2020年7月より三重銀行、8月より第三銀行で 取り扱い開始
- ・実績は三重銀行で1件(撚糸業、1億円)

## リレーション&ソリューション施策(法人)

- ▶ ライフステージに応じた経営課題・ニーズを共有し、最適なソリューションを提供。
- ▶ コロナ禍において、ニーズが高い分野のソリューションメニューを拡充し、付加価値を生み出すことで収益拡大に結び付ける。

#### 事業承継·M&A

#### 三重銀行

- ・事業承継・M&Aを専門に行う「コンサルティング営業部」 を2020年10月に営業企画部内から独立部へ格上げ (10名体制)
- ・メガバンクや連携コンサルティング会社へトレーニーを 派遣し、専門人材を育成
- ・事業承継ファンドを設立予定

#### 地域活性化

#### 第三銀行

- ・「観光遺産産業化ファンド」への出資、および「三重県に おける観光による地域活性化」に関する連携協定の締結
- ·第2号さんぎん成長事業応援ファンド(2020年2月設立)を 活用し、企業の成長·発展を支援

(実績:累計3件、330百万円出資)

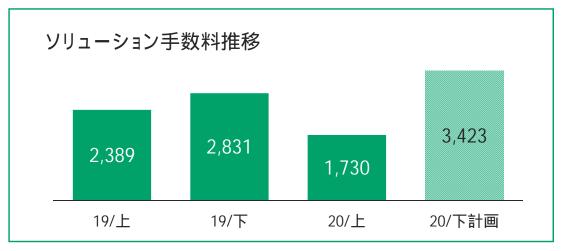
#### ビジネスマッチング

「Biz-Create」への参加

- ·SMBC、NECが運営するスキームに参加
- ·三重銀行·第三銀行·三井住友銀行のお客さま同士が、 相互にニーズ登録·検索·商談が可能

#### 有料職業紹介事業

- ・2020年12月より、三重銀行で開始
- ·後継者や管理職、プロ人材等の求人ニーズに対する ソリューション



## リレーション&ソリューション施策(個人)

- 資産運用のスペシャリスト(出向者)やSBIマネープラザを活用し、高度化する様々なニーズに対応できる体制を構築。
- 合併後は、様々なチャネルを活用し取引基盤の拡充を図る。

#### コンサルティング営業の強化

保険会社や証券会社からの出向者受け入れ

・専門分野からの出向者を受け入れ、資産運用・相続・ 贈与等のニーズに的確に対応

			18/4比
証券会社	三重		+2名
<b>一部分云</b> 性	第三	1名	+1名
保険会社	三重	8名	+5名
体突云性	第三	2名	+2名

#### 合併後の個人向け戦略

デジタルを活用した顧客利便性の向上

- ·WEB予約サービス、リモート相談、スマホアプリ連携、 無担保個人ローンの完全非対面化等 両行の各種営業チャネルの有効活用
- ・ダイレクトコールセンター、年金サポートデスク、 休日営業店舗 等

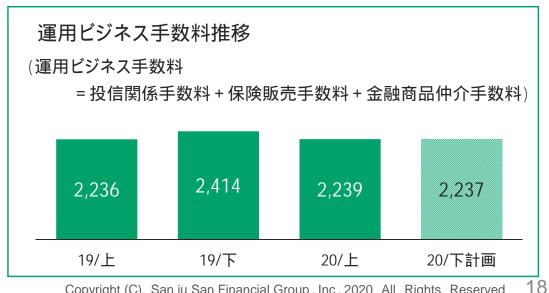
インターネットバンキングを活用した資産形成・資産運用 ソリューションメニューの拡充

#### SBIマネープラザとの共同店舗

SBIマネープラザ名古屋の開設(2020年4月)

- ・三重銀行名古屋駅前支店内に2店舗目を開設
- ・2020年10月からは第三銀行のお客さまへのマッチングを開始
- 合併後は店舗の拡大も検討

(百万円) 19/9末 20/3末 20/9末 預かり資産残高 1.911 4.965 9.177



## 効率化 · 最適化施策

- ▶ 利便性の確保とネットワークの強みを活かした店舗統合を実施。
- ▶ 人員の最適化、業務の効率化を実施し、営業力の強化を図る。

## 店舗効率化

#### 共同店舗化

・合併に先立ち、共同店舗化を実施

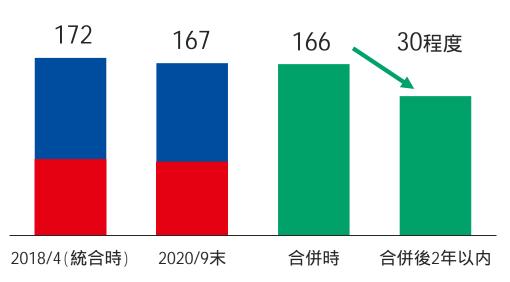
2019/5 三重:東京法人営業部、第三:東京支店

2020/11 三重:名古屋法人営業部、第三:名古屋支店

#### 合併後の店舗統合

- ・2年以内に約30拠点をブランチインブランチにて統合
- ・統合店舗の有効活用、更なる効率化を検討

#### 拠点数推移



## 人員計画

- ·次期中期経営計画期間中に、採用抑制による自然減で、 総人員を10%以上削減
- ·本部·店舗統合により創出された人員を再配置により 営業力を強化

#### 合併後の効率化施策

デジタル化の推進による業務効率化

- ・契約書、申込書、伝票帳票等の電子化
- ・印鑑レス化、通帳レス化、ペーパーレス化
- ·AI、RPAを活用した既存業務の効率化 コストマネジメントの強化
- ・事務機器の適正配置による設備投資削減
- ・物流コストの最適化
- ・システムコストの削減

## 中計KPI

- 地域活性化に向けた取組みは、当初計画を上回って推移。
- ▶ 今期の当期純利益(2行合算)は88億円を計画しており、財務目標についても当初計画を達成できる見込み。

#### 地域経済活性化に向けた取組み

	19/3 実績	20/3 実績	20/9 実績	累計	中計当初計画
地元(三重·愛知)事業性貸出先数	+224先	+286先	+629先	+1,139先	+1,100先
創業ファイナンス支援件数	425件	371件	405件	1,201件	1,120件
ビジネスマッチング対応件数	1,841件	2,099件	953件	4,893件	4,200件
事業承継支援件数	544件	400件	317件	1,261件	1,200件

#### 財務目標

当期純利益(2行単体合算)	79億円	69億円	42億円	< 21/3期計画 > 88億円	85億円
---------------	------	------	------	---------------------	------

)財務目標(中計)には合併システム関連費用は織り込まず策定

## SDGsへの取組み



#### 三十三フィナンシャルグループSDGs宣言

三十三フィナンシャルグループは、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、 地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて国連が提唱する SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

## (重点課題と主な取組み)



NTT西日本三重支店と連結協定を締結

NTT西日本三重支店と「地域活力の 創出と地域経済の発展等に関する 連結協定」を締結しました。双方の 持つ資源・ノウハウを有効活用して ICT・DXを活用した地域社会の課題 解決に取り組んでいきます。



#### 持続可能な地域経済の実現

「国体・大会パートナー」として応援 2021年に三重県で開催される「三重 とこわか国体・三重とこわか大会(全 国障害者スポーツ大会)」に寄付・ 協替金2千万円を寄贈し、「国体・大会 パートナー」として応援しています。











#### 地域の環境保全

御在所岳山頂での植樹支援 三重銀行は、2011年より御在所岳の 樹木の保全活動に協力しています。 2020年度は御在所岳山頂での植樹 活動への支援を行いました。



















#### 働きがいのある職場づくり

健康経営優良法人2020の認定取得 第三銀行は、経済産業省および日本健康 会議において「健康経営優良法人2020 (大規模法人部門)に認定されました。



#### 健全経営の実践

取締役会のバランス・多様性

2020年6月に社外取締役を2名増員(うち女性1名)し、社外取締 役の構成比を1/3以上に高め、監督機能の強化に努めています。







